

病院の上手な利用法

「かかりつけ医を持ちましょう。」

風邪や腹痛などの比較的軽い病気でも病院にかかる人が大勢います。

おそらく「もし重い病気だったら大変だ。」という不安感、そして「病院には優れた検査機器があり、専門の医師がいる。」という安心感があるからでしょう。

でも、それは、病院の上手なかかり方とは言えません。

かかりつけ医を持って、その紹介で病院にかかることが病院の上手な利用法です。かかりつけ医を持っていると、患者さんにとっても病院にとってもたくさんの利点があります。

- かかりつけ医は、日中はいつでも気軽にかかることができ、病院のように午後にかかったからと言って割高な時間外料金をとられることはありません。
- あなたの身体と健康を末長く診てくれます。病院の医師の多くは、大学から派遣のため1～2年で交代となり、一人の医師に末長く診て頂くというわけにはいきません。
- あなたの身体全般に注意をはらい、健康を管理してくれます。病院の医師の多くは専門医か専門医を目指して修練中の医師です。専門以外のことは他の医師に任せますので、病院のいくつかの診療科をわたり歩いて受診しなくてはいけなくなる場合があります。
- あなたの身体にとって必要であれば、診断そして治療に適切な病院と医師を紹介してくれます。
- 紹介状には、あなたの病状と受診の目的が書かれていますので、検査、診断、治療の予定がたてやすく、非常に効率が良くなります。



「かかりつけ医を持つ」－「必要な時に病院利用」

かかりつけ医は、常日頃の自分の健康を維持し、いざ病院にかかる時には大切なあなたの身体の情報を病院に提供してくれます。

市立御前崎総合病院

※文中の「病院」は総合病院のような勤務医の勤める施設、「かかりつけ医」はお近くの開業医（診療所）等をいいます。